

議会だより

No.42 平成26年1月1日号

次回の定例会は 2月3日(月)からです。

傍聴にお越しください。





市民の中の議会であり続けるために

~ 「議会改革の志」を新たにして~

俊治

副議長

議長 尾島

頭のごあいさつを申し上げます。 にとって幸多き年となることを願いまして、謹んで年 新年おめでとうございます。市民の皆様一人ひとり

ことができると思います。 れば2020年東京オリンピックの開催決定を挙げる 昨年も様々なことがありましたが、明るい話題とす

を願っております。 えば、今回も東日本大震災からの復興が達成され、 が国の社会が大きく良い方向に向かう契機となること り、その後の高度経済成長の始まりであったことを思 前回1964年の開催は、 戦後の復興の象徴であ 我

組みの中で大きな課題でありました二つの事項につ さて、上田市議会は昨年において、 結論を出しました。 議会改革の

ました。 研究を重ねた結果、 上田市の議会として、その役割を果たす観点から調査 まず一つ目は、議員定数の見直しについてでありま 人口16万人、市域面積は550平方キロを超える 30人が適正な議員定数であるとし

催などの議会改革を継続していくことといたしました。 いたします。 を重ねてまいる所存でありますので、よろしくお願 重さを議員一人ひとりが改めて自覚し、議会の力が最 における基本的事項を示し、その上で議会報告会の開 あり続けるために、条例という形で議会及び議員の活動 市民の皆様の負託に応え、信頼される市民の中の議会で 、限発揮されるよう今後とも一丸となり、一層の努力 二つ目は、上田市議会基本条例の制定であります。 今年は選挙の年であります。 選挙で選出されたその

皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。



意見交換で出された主な項目

- ●議会基本条例
- ●各委員会が行った視察・懇談会等
- ●地域内分権
- ●運賃低減バス
- ●交流・文化施設
- ●防災対策
- ●地域課題 (医療、施設・道路整備等)

アンケートでいただいた主なご意見

- ●議会報告会の継続開催を希望する。
- ●昨年より内容・資料が充実していた。
- ●消防団員の確保と待遇改善をお願い したい。

上田市議会主催 第3回 議会報告会に358人が参加

議員が各地域に出向き、市議会について説明・報告するとともに、市民の皆様の声をお聞きする「議会報告会」を10月21日(月)から29日(火)までの間に開催しました。

今回は、4つの常任委員会の活動や、議会機能強化特別委員会からの議会基本条例原案等について、それぞれの委員会ごと

に所属委員から報告を行いました。その後、報告内容のほか議会や市政に 関わること全般について意見交換を行いました。

9会場合計で358人の皆様にご参加いただき、たくさんの貴重なご意見をお聴きすることができました。ありがとうございました。

●会場別参加者数

	開催期日		実施	地区		会 場 参	加者数
	10月21日(月)	真	\blacksquare	地	区	真田中央公民館 3	39人
		神科・豊殿地区				豊殿農村環境改善センター 2	29人
	10月22日(火)	武	石	地	区	武石公民館	19人
	10月24日(木)	中	央	地	区	中央公民館 4	11人
		塩	\blacksquare	地	X	塩田公民館 5	50人
	10月25日(金)	城	南	地	区	城南公民館 2	23人
	10月26日(土)	丸	子	地	X	長瀬市民センター	10人
	10月27日(日)	Ш	西	地	X	川西公民館	15人
Ī	10月29日(火)	西	部	地	X	西部公民館	12人



真田中央公民館

人口減少と高齢化を考えると、運賃低減バスだけでは対応できない。デマンド交通を研究してほしい。

重要性は認識しているので、環境建設委員会でも考えていきたい。 消防団員が出動中にケガをして入院した場合、費用が60%しか出 ないと聞いた。100%出るようにしてほしい。

調査して60%なら100%出るよう働きかけていく。

老人介護施設が不足している。有料老人ホームはあるが、低所得者は入れないので、市で施設を作って低料金で入れるようにしてほしい。

低所得者が入れる施設の建設は、市に要望している。また介護 予防にも力を入れていきたい。

中央公民館

市内建設業者に土木工事が回っていないように思えるが、災害時などに業者の応援は頼めるのか。

市道の工事などは市内業者に発注している。橋梁工事はできる 業者が限られるということもある。建設業者等とは災害時応援 協定を結んでいるので、対応してもらえると理解している。

議会報告会の今後の進め方は。

市政に関する重要な課題が出た場合、その課題を持って市民の皆様の意見を聞く、公聴会のような形もあると考えている。

染谷丘高校から下ってきた交差点は、死亡事故があったり子どもが車にひっかけられたりと危険な場所である。市が中心になって 国や県に働きかけてほしい。

信号を歩車分離式に替えることなど、警察等へ要望したい。

西部公民館

第三中学校は建替えが前提と聞いていたが、耐震化工事となった。耐震化工事は前から決まっていたことなのか。

本年6月14日の教育委員会資料や市のホームページでも全面 改築となっていたが、平成27年度中に小中学校の耐震化を終え るようにとの指示が文部科学省からあった。総務文教委員会で は、生徒の安全・安心面から耐震化工事の予算を議決したが、校 舎の安全性や利便性について地元の理解を求めるよう、付帯意 見を付けた。

議会基本条例を一日も早く制定すべき。

まず議会改革を進めたうえで、その到達点として議会基本条例があると考え、改革を行ってきた。今回市民の皆さんの意見をお聞きしたので、12月議会での制定を目指す。



塩田公民館

「交流文化芸術センター」の呼称は「ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)」のような名前を付けるようになるのか。

この施設は市の直営で管理・運営することが示されている。企業 名を冠するネーミングライツの予定は当面ない。

自校給食でないと食物アレルギーへの対応が難しい。学校給食運 営審議会は「自校給食が望ましい」という答申を出したと聞くが、自 校給食の見通しはどうか。

各小中学校に給食室を建設するには多額の費用がかかることが ネックとなっており、市教育委員会はまだ明確な方針を示していない。議会としては、今後も早期に方針を示すよう働きかけていく。

城南公民館

中小企業振興条例について、業界団体との懇談会で議論にならなかったとあるが、理由は何か。

それぞれの業界団体内で議論がまだされていないためである。

議会基本条例原案での「議員間討議」とは何か。

議会は合議制であることから、議会として条例・政策を提案する ための討議を行うものである。

議員定数を30人にしたとのことだが、上田市より人口が多い松本市の31人と比べどうなのか。

定数研究委員会で、人口比率、全国同類他市などと比較すると 上田市は平均だった。委員の意見等や定員が偶数、奇数などを 勘案し、今回30人が適正とした。

川西公民館

消防団員の確保について、どのように取り組んでいるのか聞きたい。 自治会長と消防団員が一緒に戸別訪問して新入団員の確保に 努めている分団もある。また、団員の待遇改善や企業の協力も 不可欠だと思う。

運賃低減バスの運行はありがたい取り組みだと思う。ただ、運行本数が十分でないため、利用者の増加は難しいのではないかと思うがどうか。

この取り組みは、運行本数はそのままに運賃だけを300円又は500円で利用できるようにするという実証運行である。画期的な取り組みなので、この点を理解いただき、ぜひ大いにご利用いただきたい。



豊殿農村環境改善センター

新幹線の金沢延伸を考えると、産業振興はこれからの課題。議会としてどのような施策を行っていくのか。

現在、市内の商工団体と懇談を行っている段階で、具体的な方向性はこれから議論していく。

医師の安定的な確保策は講じられているのか。

上小医療圏地域医療再生計画では、新たに若い医学生の研修の場として地域医療教育センターを設けており、市独自の取り組みとしては医師確保修学資金等貸与制度が始まっている。

地域交通網の拡充・整備が求められているが、現在どのような取り 組みが進められているのか。

10月から上限500円の運賃低減バスの実証運行が始まった。全国で3番目の画期的な取り組みである。

武石公民館

伊東市の保育園民営化を視察したと報告があったが、上田市としては保育園の民営化をどう考えているのか。

現在民営化ありきでは考えていない。責任をもって保育できる体制を作るにはどうしたらいいか研究している。

地域協議会としても雲渓荘の運営方法の検討に行き詰まっている。議員から意見をいただきたい。

来年度から3年間は引き続き地域振興事業団に管理をお願いし、その間に地域協議会と行政で協議していくと聞いている。議会としても協議内容を伺う中で、できる限り応援していきたい。

最近は、農業従事者が減り水路の維持管理が難しくなっている。国 等から支援をいただけないか。

地域で新しい組織を作り申請すると、国から補助金が出る農地・水保全管理事業がある。今後研究してみてはどうか。

長瀬市民センター

松くい虫対策はどうしているのか。

た案内標識がわからない。

予算は限られていることから、地区を選定、限定して対応している。 広域避難所以外の一時避難場所の耐震化や設備の機能充実は十分か。 委員会でも議論を進め、順次耐震診断を進める。

信州国際音楽村への道路整備、特に雑草対策ができていない。ま

地域住民の方々と協議し、協力いただき、改善に努めたい。

障がい者施設などで土日、祭日に対応できる施設は。

施設はある。市は増やす方向でいる。

メガソーラー設置に関する規制や条例化の動きは。

買取り保証期間20年後の設備放置が心配。検討していく。

|田市議会基本条例| を可決しました

編集後記

月16日、 全会 「上田市議会基本条例」 ·成25年12月定例会の最終日である 一致で可決しました。 議会機能強化特別委員会か が提案さ

などを規定する「議会基本条例」 田市のために役割を十分に果たすに 会改革に継続的に取り組み、 会改革を進めてきましたが、 上田市議会では, その取り組みや議会のあるべき姿 これまで様々な議 今後も議 議会が上 の制

会報告会においても、 例案の作成に取り組んできました。 条文の検討、 定が必要であると考えました。 本条例に関する研修会などを重ね、 者の皆様から多数のご意見をいただ 組みや条例原案について報告し、 議会機能強化特別委員会において 前ページで紹介しました昨年の議 検討の際の参考にさせていただき 先進事例の調査研究、 条例制定への取 参 ま 条

ました。

から施行となります。 議会基本条例は、 平 成26年4 月1日

上田市議会基本条例の主な内容

- 上田市議会のあるべき姿
- 議会報告会などの継続的な実施

ど、「不断の議会改革」を推進する理念が明 により、情報公開、市民参加、機能強化

議会改革への継続的な取り組

れています。 するため、 置されています。 応じて設置される特別委員会が2つ設 していくための議会運営委員会、 に、特定の課題に対応するため必要に]的に効率よく調査し、 上田市議会には、 4つの常任委員会が設置さ また、 議会を円滑に運営 市の事務をより 議案等を審査 さら

等を行っています。 る議会改革を進めるために、 皆様の生活向上のため、 審査のほか、 それぞれの委員会において、 さまざまな調査 また、 議案など 市民の さらな 研

を紹介します。 今号では議会運営委員会の活動概要

◎ 西沢 逸郎 ○小林 隆利 古市 順子 井沢 信章 三井 和哉 土屋 孝雄 下村 栄 滝沢 清茂

[委員名]

◎委員長 ○副委員長



開かれた議会運営をめざして

項に係る検討結果を議長に報告し、 れまで検討を進めてきた会派要望事 検討を行っています。 関する事項や議会改革事項について として、定例会及び臨時会の運営に 分発揮できる円滑な議会運営を目標 県大津市議会、 全議員に周知しました。 議会運営委員会は、議会機能が十 昨年の議会報告会で提 三重県四日市市議会 昨年3月にはこ また、

> 起いただいた通年議会等の議会運営 について調査研究を行いました。

会運営に取り組んでまいります。

化を進めるとともに、開かれた議

今後も、

不断の議会改革と議会活

平成26年1月1日発行 平成20年1月1日2日3 発行:上田市議会 〒386-8601 上田市大手一丁目11番16号 TEL.0268(22)0452 FAX.0268(23)5136 E-mail: gikai@city.ueda.nagano.jp URL: http://www.city.ueda.nagano.jp 編集:議会広報特別委員会

: 久保田: 小坂井 長 夫郎 委 員 副委員長 員:松 総 池 # 大

児 将 土内 屋堀 陽勝

印刷:有限会社 大和印刷 環境に優しい大豆インクを **SOYINK** 使用しています。

賢太郎 -郎 介亮男 年

山田田屋玉

度」のほか、「議会報告会の充実」、「市議会 に、市議会として、引き続き努力してまい 市の個性が輝き、さらに発展していくため 市民生活の安全・安心をさらに進めます。 よる意思決定、国からの独立性)に基づき 行われます。地方自治の本旨(住民自身に み、成果をあげることができました。 傍聴の充実」などを重点課題として取り組 として「議会広報・広聴の市民モニター 今年3月には、市長・市議会議員選挙が さて、議会広報特別委員会は、新規事業 激動する内外の政治・経済の中で、上田 (久保田由夫)

昨年の武石地区のマツタケ (議会だより内の写真は、議員が 当番で現地取材しています。)

年も、市民の皆様のご でとうございます。今

新年明けましておめ

り祈念申し上げます。 活躍とご多幸を心よ

上田市議会は、12月議

会において市議会のあるべき姿を規定する 議会基本条例」を制定しました。このこと